

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	C	数学	数学 I	文系	必修	2

講座のねらい

「数学 I」の後半部分を行います。2年次では図形やデータの分析が中心になります。

使用教材及び問題集

教科書：「新編数学 I 改訂版」 (啓林館)
 問題集：「アベレージ 改訂版 数学 I + A」 (啓林館)

授業の内容と進め方

教科書を中心に問題集で演習を行います。授業前には、最低教科書に目を通すぐらいの予習を行い、その日に習ったことはすぐに復習し理解を深めて下さい。
 課題は期限までに確実にこなして下さい。

講座の到達目標

「数学 I」は、すべての生徒が履修する必修科目であり、高等学校数学の土台となるものです。基本事項を大切に、演習を繰り返すことで、知識の定着を図ります。定理や公式は、単に丸暗記するだけでなく、それらを具体的な問題に適用する力を育成していきます。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を主資料とし、授業態度・小テスト・ノート提出などの平常点を考慮して評価します。家庭での学習時間を多くもてないことを肝に銘じ、授業をもっとも重要な時間と理解し、集中力をもって授業を受けてください。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

第2章 2次関数

- 第3節 2次関数と方程式・不等式
3. 2次不等式とその解

第3章 図形と計量

第1節 鋭角の三角比

1. 三角比の値
2. 三角比の相互関係

第2節 鈍角の三角比

1. $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の三角比
2. 三角比の相互関係

2 学期 学習計画および学習内容

第3節 図形の計量

1. 正弦定理
2. 余弦定理
3. 平面図形の計量
4. 空間図形の計量

第4章 集合と命題

第1節 集合と命題

1. 集合
2. 命題と集合
3. 逆と対偶

3 学期 学習計画および学習内容

第5章 データの分析

第1節 データの整理と分析

1. データの整理
2. データにおける代表値
3. 範囲と四分位範囲
4. 分散と標準偏差

第2節 データの相関

1. データの相関
2. 相関係数